

一六  
「一時間乃至十一時間半に對し、英國は九時間餘に過ないのである」

■ 貨銀の増加は如何にして来るか

労働者の地位が次第に上進する同時に、労働者も亦自己の經濟的進歩に相當する所の代價、即ち能率を高め、優良なる製品を作らねばならぬ。が、何にしても今日最も難ろくべきことは労働者の忍耐といふ事である。然もこれは單に感情上ののみの事ではなく私共は衷心より労働者が其の生産物に對して、より大きな分配を獲得しやうとする其の慾望に對して同情せざるを得ない。

而して私共は労働者に對して尚一層公平なる富の分配を行ふと共に、今日過重なる國民的負擔に呻吟してゐる勤勉なる中等階級の負担を輕減せしめんがためには、怎うしても最も良好な市場を持つこそが肝要である。かく外國と好ましい通商條約を締結し、市場を海外に開くがためには、國內に優遇を受けてゐる労働者が多數居なければ駄目である。だから私は國民の一員として次の事を告げ度いといふのは労働者に對して常に高い貨銀を拂つて其の生活程度を高めて置くことは、つまり優良なる製品を作るといふ事になるから、延いて海外に市場を開拓し其の信用を博する様になる。而してこの事は經濟界の激動、恐慌を防止する上に極めて偉大な力があるものであるといふ事を。

### ■労働時間の短縮